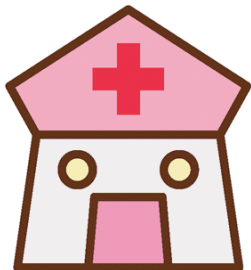


献血・骨髄バンク登録会(2月2日)
企画部 部長 中川繁巳



平成20年2月2日土曜日、フジグラン宇部1階にて献血の呼び掛け、骨髄バンク・ドナー登録呼び掛けの事業を開催しました。毎年恒例となった事業でしたが、当日の天気は終日雨天だったために人出の少なさを心配しました。しかしながら日本赤十字社さま、日本骨髄バンクさま、ともに目標人数を超えたとの事で、今回の若き経営者の会の事業で、地域社会に貢献することができたと考えています。

献血、ドナー登録を呼び掛けるチラシの配布に留まらず、お子様向けの風船をこしらえて、来店するご家族に配りPRする事で、あるご家族のお父さんお母さんは進んで献血に協力して下さいました。このことも含めて、85名の方が献血に参加されました。また、7名の方が骨髄バンク・ドナー登録をして下さいました。

それぞれ、冬の時期に輸血等の血液が季節柄、必要量に対して少ない点、骨髄ドナー登録が加齢で無効になり、有効な登録者数は安定していない点で、我々の活動が(微力かもしれませんが)必要としている方々に貢献したと自負しています。

2月餅つき例会(2月17日) 教育部 高橋英樹

2月度例会は、会員とその家族の参加により日本古来の風習を学ぶために、お餅つきの講習・実体験をさせて頂きました。

朝から小雪模様にも関わらず、たくさんの方々のご協力により準備が着々と進み、11時に例会が開会。まずは講師の方による餅つきの講習、そして皆様お楽しみの餅つきの実体験。

始めに当会きっての餅つき名人である古川さん・広橋さんによる模範があり、続いて参加者による餅つきです。最初のうちは異音が混じっていましたが、だんだん餅つきらしい良い音に変わってきました。中でも子供達が思っていたより良い音を出していたのには驚きました。

そして次々に搗きあがったお餅は、餡餅・草餅・きな粉餅・おろし餅・ぜんざい等に仕上がっていきました。その後、その餅を試食しながらの親睦会、皆様の笑顔々々があふれ、寒さを吹飛ばす楽しい一日になったのではないのでしょうか？

奥様の「もっと私を見て」(2月23日) 文化部 原 洋司

奥様研修を終えて・・・

2月23日、無事奥様研修を終える事ができました。参加者は十三名、今回はネイルアート教室を開催したのですが予定よりも30分もオーバーする程、皆熱心にネイルアートを楽しんでおられました。隣の約20畳もある控室に、だるまストーブ一つで寒さに震えながら待機していた我々の心も、とても暖かくなる程の笑い声が約2時間、絶え間なく響いていました。

私事ですが、うちの妻も私と同じ医療従事者なので、普段はできないマニキュアをうれしそうに眺めていました。まあ日曜日の夜には寂しそうに落としていましたが・・・

二次会も非常に盛り上がり、奥さま同士の交流の目的は充分過ぎるほど果たせたのではないかと思います。

来年度も有意義な研修会開催のため、会員の皆様のご協力をお願い致します。



3月例会(3月14日)

教育部 部長 木田英二

3月例会は、講師に当会OBの作村良一様をお招きし、過去10周年、15周年、20周年、25周年、30周年の周年記念事業についての内容、苦労話、思い出等を話して頂きました。

国際交流事業は周年事業から始まり今まで受け継がれてきているので、これからも残していかないといけない事業だと思えました。